

多治見酒造協同組合

日本酒

基本情報

対象国 カンボジア

輸出額 200万円(2023年度見込み)

加盟者数 6社

主な販売先 小売、日本食レストラン

活動地域 岐阜県

品目数 単一

希望スキーム 間接輸出

備考 -

「岐阜の地酒」の知名度向上で、日本酒の輸出拡大と日本とカンボジアの友好の一翼を担う

カンボジアの首都プノンペンにおいて開催される展示会への出展、並びに『岐阜の地酒』プロモーションイベントを実施し、カンボジアへの地酒の輸出拡大が目的である。

団体概要

所在地 岐阜県多治見市

設立年 1949年

事業内容 日本酒の新規開拓や商流拡大のためのマーケティング活動

認証取得 -

生産規模 -



取組の経緯/概要

- ・日本国内での日本酒消費の低迷が今後も続くことが予想されるなか、所得水準が年々上昇しているカンボジアで岐阜の地酒の知名度向上を目指す。
- ・カンボジアの首都プノンペンにてイベントを開催し、試飲会を実施。中間層～富裕層に向けて日本酒の魅力を伝える。
- ・プノンペンの現地系ホテルのホールでイベントを開催。在カンボジア日本国大使館主催の天皇誕生日レセプションでの日本酒プロモーションの来場者の意見を反映させて、『日本酒』と『日本食』とのペアリングも実施する。

取組の成果

- ・輸出金額：200万円(2023年度見込み)
- ・WebサイトPV：年間10万PV（8,000PV/月）
- ・オンライン商談で10件の商談機会を獲得

取組のポイント

カンボジアでのプロモーションを通して、日本酒の知名度を上げ、全組合員で日本酒輸出の拡大を目指す

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

消費者の飲酒の多様性や日本酒離れによる日本国内での日本酒消費の低迷

TASK

課題

2

効果的なターゲット国が組合内で定まっていない

TASK

課題

3

新型コロナウイルスによる不要不急の外出自粛等、変化の激しい市場動向の把握

輸出成功のポイント

プノンペンで大規模な日本酒イベントを開催

在カンボジア日本大使館が主催した天皇誕生日レセプションパーティーでカンボジア初の日本酒プロモーションが開催

カンボジア市場が成熟していないことをプラスに捉え早期市場参入を図る

本事業を通じて共同事業を実施し、当組合としてターゲット国を明確化し、輸出拡大と他の組合員の新たな販路開拓を目指す

商談での成功率を高めるため展示会前に市場調査

渡航前にJETROプノンペン事務所の協力のもと、オンラインにてブリーフィングを行う

サプライチェーン別取組

イベント出展前の 現地の市場調査

- カンボジア市場について理解の無いまま、展示会出展しても、商談が成立しない可能性もあるため、展示会出展前に、市場視察を行う

日本・カンボジア友好70 周年記念行事に出展

- パンフレットを手渡し、組合員1企業に付き1名の通訳を配置
- 試飲には、岐阜県地場産業、美濃焼の酒器を使用

日本酒と日本食のペア リングを実施

- プノンペン市内のホテルで『岐阜の地酒』プロモーションイベントを実施
- 岐阜産食品のPRにも繋げる

商品選定・開発

販売

今後の輸出拡大に向けて

岐阜県庁等と官民連携を図り、岐阜県産の日本酒の輸出拡大を図るとともに、岐阜県の認知向上及び岐阜県産品の輸出促進を目指す。